

## 奈井江町における災害対応備蓄品 整備計画

災害発生から 24 時間内に必要な食料や資機材などを基本とした備蓄品について、以下のとおり年次計画的に整備を進めている。

【事業費】 H24 年度～956 千円（実績）、H25 年度～1,699 千円（実績）、  
H26 年度～1,899 千円（実績）、H27 年度～2,031 千円、  
H28 年度～2,077 千円 H29 年度～929 千円、H30 年度～300 千円

※H25～H27 道地域づくり総合交付金により備蓄整備  
H26 道振興協会助成金による備蓄整備を含む

### 1 被災想定による備蓄等

- ・被災想定者数 300 人（水害等人口の約 5%が被災したと想定）が 1 日間に必要とされる非常食 900 食分の備蓄を平成 24～28 年度の 5 カ年計画で進めていく。  
※1 日間⇒岩沼市の経験から、被災してから 1 日後には、自衛隊による炊き出しが開始されたほか、札幌市でも 1 日程度の食料を備蓄。

### 2 食料・日用品等の備蓄状況

- ・平成 24 年度から粉ミルクやおむつ、生理用品など、乳幼児や女性、高齢者に配慮した物資の備蓄を行い、平成 29 年度までに計画数量を備蓄する。

（備蓄計画）

品 名	H26 末	計 画	内 訳
アルファ米	500 食	850 食	H28 整備完了、5 年更新
ミキサー粥	50 食	50 食	整備済、5 年更新
飲料水(2ℓ/本)	180 本	450 本	90 本/年、H29 整備完了、5 年更新
粉ミルク	4,150 g	4,150 g	整備済、毎年更新
哺乳瓶	10 本	10 本	整備済、5 年更新
オムツ、尿とりパット	20 袋	20 袋	整備済、3 年更新
生理用品	5 袋	5 袋	整備済、3 年更新

※アルファ米：普通のお米を炊飯したあとに水分を除いて乾燥させたもの。お湯又は水を加えるだけで食せる。

### 3 資機材の備蓄状況

・主要な避難所 6 箇所用の資機材として、平成 30 年度までに次の品目を整備する。  
(備蓄計画)

品名	H26 末	計 画	内 訳
毛布	180 枚	300 枚	60 枚/年、H28 整備完了
アルミマット	109 枚	300 枚	H30 整備完了
寝袋	70 個	150 個	H30 整備完了
ラジオ付ライト(ランタン)	10 個	12 個	H27 整備完了
避難所用 LED ライト	50 個	50 個	整備済
避難誘導用拡声器	6 個	6 個	整備済
救急箱	12 個	18 個	H29 整備完了
介護用移動トイレ	10 台	10 台	整備済
トイレ用パーソナルテント	6 張	6 張	整備済
サージカルマスク	3000 枚	3000 枚	整備済
消毒液	27 袋	27 袋	整備済
防災伝言シート	3 セット	6 セット	H28 整備完了
やかん 4ℓ	18 個	18 個	整備済
カセットコンロ	18 個	18 個	整備済
カセットボンベ (3 本入/パック)	24 パック	24 パック	整備済
非常用ローソク	60 本	60 本	整備済
石油ストーブ	2 台	12 台	H29 整備完了
折りたたみリヤカー	2 台	6 台	H28 整備完了
保温シート	6 巻	24 巻	H29 整備完了
布設用マット	10 巻	36 巻	H29 整備完了
簡易ベット	5 台	18 台	H29 整備完了
プライベートルーム	10 マス	36 マス	H29 整備完了
ハロゲン投光機	4 機	6 機	H27 整備完了
コードリール	4 個	12 個	H29 整備完了
発電機 (2.3kVA) (ガソリン携行缶 20ℓ×6 個含む)	6 台	6 台	整備済

### 4 備蓄物資の管理

平成 21 年度に旧福祉センター跡地に整備した「防災倉庫」及び「防災コンテナ」に防災備蓄品・資機材の管理・保管を行っている。

非常用水 (500ml×11,600 本) を、役場、公民館、やすらぎの家において保管している。

### 5 住民・企業による備え

災害時の混乱の中では備蓄物資がすぐに配分できるとは限らないことから、災害への備えとして、日頃から各ご家庭や事業所においても食料と水などを備えておくことが必要である。